

小川雅貴氏

発表タイトル:「局所的有生性による日本語の能動態・受動態選択:東京方言・

東北方言・近畿方言の比較 Local animacy determines the

preference for active/passive voice in Japanese: Comparison of

Tokyo, Tohoku, Kansai dialect」

受賞理由:能動態と受動態の選択に方言差が見られるという従来の研究成果を

より精密に検討するために、10項目の他動的事態を描いた絵を用い

た実験を、東北、東京、近畿の大学生に対して行い、その結果を報告

したものである。課題設定はやや新規性に欠けるもののきわめて明

解で、議論の展開も堅実であり、導き出された結論にも妥当性が認め

られる。論証のための実験方法や分析方法にやや改善の余地がある

が、今後の発展が期待される研究である。発表の仕方に工夫がこらさ

れていてわかりやすかった点も大会発表賞として高く評価される。